

青年協ニュース

2013-02

2014年1月29日

全日赤青年協

医労連第1回青年委員会開催

医労連青年委員会が26日-27日に開かれました。委員会では昨年の青年学習交流集会、青年代表者会議の総括や今年の取り組みについて議論。次回アクトの開催地についても議論し、次回は東北の福島県での開催という方針になりました。青年学習交流集会と青年代表者会議は、昨年と同じく10月と11月に開催される事となり、ハラスメントアンケートを取り組む事も決定しました。また県医労連青年部に結集し、4月19日-20日の医労連役員セミナーや原水禁大会等平和の行動に、青年も積極的に結集しましょう。今年は各ブロックで、ブロックアクトも行われます。幅広い青年と交流出来る良い機会ですので、積極的に参加しましょう。

追い風春闘 今こそ勝ち取ろう、大幅賃上げ

全日赤では、団交でパワハラ防止規定の作成について本社を追及してきました。しかし本社はトップのメッセージすら発せずにいます。昨年から取り組んでいただいている全日赤2013年度要求アンケートを見ても、青年労働者のハラスメントに対する意見は多数報告されています。

春闘では、医労連は4万円の大幅賃上げ要求をしています。全日赤では春闘シリーズビラを現在発行していて春闘の情勢を発信しています。また新歓等にも青年が積極的に参加し、組織拡大を目指して奮闘しましょう。

今年の春闘は、経団連ですら会員企業に賃上げの検討をするよう示しています。去年の「ベースアップを実施する余地はない」と明記していた状況から、大きく前進しています。労働者の賃金は97年以降下がっている一方で、大企業は利益を労働者の賃金に還元せず、内部留保を増やしています。また4月には、国民の大多数が反対した消費税増税がいよいよ実施され、円安による物価高と合わせ月1万5千円もの負担増になるとも言われています。賃上げを獲得しなければ賃下げになってしまいます。2014年春闘では「すべての労働者の賃金引き上げこそ不況克服のカギ」の世論を高めましょう。たたかえば要求が前進する条件は整っています。その事に確信を持ち、積極的に青年も春闘闘争に加わり、大幅賃上げを目指しましょう。

知識は力なり、学び理論武装し、魅力的な活動家を目指そう

組織を拡大している単組では、勤労者通信大学等を活用した組合員の学習が積極的に行われています。

今世界も日本も、激動の情勢を迎えています。資本側は、労働者階級に対する攻撃を強めています。今こそ労働者が団結し、これらに真っ向から立ち向かわなければなりません。これらの情勢を把握する為にも学習が必要不可欠です。勤労者通信大学では、様々な学習コースがあります。憲法コースでは、今安倍政権が改悪を画策している日本国憲法を学ぶ事が出来ます。基礎コースでは、科学的社会主義の哲学、経済学、階級闘争論を学び、ものの見方・考え方、社会と政治のしくみ、世の中の動きを法則的に学ぶ事で、職場と社会を変える展望を自分で切り開く力を身に付けられます。労働組合コースでは、労働組合とはという基本的な事から、労働組合の成り立ち、労働者の権利等、組合の活動家として大切な事を学ぶ事が出来ます。今こそ、職場の仲間を誘い、学習しよう。

組織拡大で要求前進、大幅賃上げ勝ち取ろう